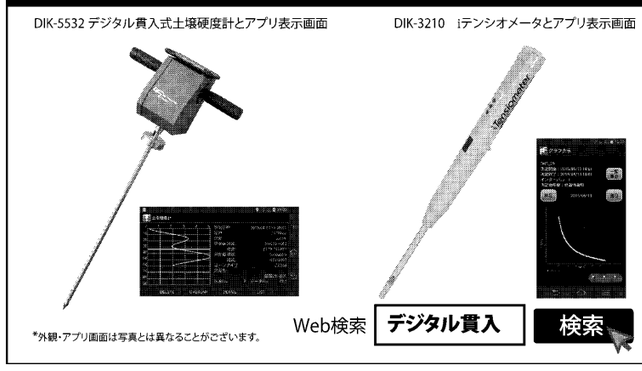
NEW! デジタル貫入式土壌硬度計 & iテンシオメータ

DIK-5532 デジタル貫入式土壌硬度計とアプリ表示画面　DIK-3210 iテンシオメータとアプリ表示画面



・土壌硬度計と土壌水分計のデータをスマートフォンでグラフ化＆データ回収

・1台のデータ表示器を各機種で使用可能！新機種は順次追加予定

*外観・アプリ画面は写真とは異なることがございます。

Web検索 デジタル貫入 検索

土と水を守る Daiki SOIL & MOISTURE 土と水の環境測定機器メーカー 大起理化工業株式会社

〒365-0001 埼玉県鴻巣市赤城台 212-8　URL : www.daiki.co.jp

TEL 048-568-2500 / FAX 048-568-2505　e-mail : mbox@daiki.co.jp

12月は地球温暖化防止月間

我々、一人ひとりが環境に配慮した社会づくりを意識することは地球温暖化防止にとって重要だ。1997年12月に京都で開催された「気候変動枠組み条約第３回締約国会議（ＣＯＰ３）」を契機に、98年度から毎年12月は「地球温暖化防止月間」と定められており、国民、事業者、行政が一体となり、さまざまな取り組みを行うことで、地球温暖化防止を図ることとしている。今年も民間企業、地方公共団体、環境省が全国各地で地球温暖化防止のための活動を行っている。

環境配慮型社会について考えよう

低炭素技術の普及推進

「L2―Tech」認証製品 環境省がリスト公開

2050年までに温室効果ガス80％削減という目標を実現するため、エネルギー起源の二酸化炭素（CO_2）排出が少ない低炭素技術の普及・導入を進める必要がある。「L2―（エル）Tech（テック）・JAPAN（ジャパン）イニシアティブ」はこうした背景から14年3月、環境大臣が打ち出した概念。「L2―Tech（Leading and Low-carbon Technology）」は「エネルギー消費量削減・二酸化炭素排出削減のための先導的な要素技術またはそれが適用された設備・機器等のうち、エネルギー起源二酸化炭素の排出削減に最大の効果をもたらすもの」を指す。

環境省は15年3月、14年度版の「L2―Tech」リストを公表している。同リストでは「産業・業務（業種共通）」「産業（業種固有の製造設備など）」「運輸」「家庭」「エネルギー転換」「廃棄物処理・リサイクル」という六つの領域を低炭素化のターゲットとして挙げ、各領域の設備・機器などで技術の進歩・イノベーションを牽引（けんいん）する「L2―Tech水準」を記載している。

数値は「商用化済（実績値）」「商用化前」「開発目標」に分けて記載されている。「商用化済」は現在商用化済みの設備・機器などに先導的低炭素技術が採用されていて、大幅な高効率化を実現しているもの、「商用化前」は先導的低炭素技術が採用されることにより、現在商用化されているものから大幅なCO2排出削減、エネルギー起源CO2削減が期待されるもの、「開発目標」が30年までに商用化が見込めるもの、ロードマップにおける目標値、とされている。

例えば「産業・業務（業種共通）」の店舗・オフィス用エアコンでは効率の指標を通年エネルギー消費効率（APF）として、「商用化済」で冷房能力4・0キロワット以下の場合は6・7、4・0キロワット超え5・0キロワット以下の場合は6・6といった数値を示した。

環境省ではさらに15年8月、「L2―Tech」水準に基づいたメーカー製品の認証制度を開始した。15年8月から9月まで公募を実施。10月に「L2―Tech2015年度夏 認証製品リスト」を公開している。

三菱電機の店舗・オフィス用エアコン、設備用エアコン、ビル用マルチエアコン、家庭用ルームエアコンや前川製作所の冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機、高温水ヒートポンプ、日立産機システムの誘導モーターなど、全316件が15年度に認証を受けた製品としてリストアップされている。

L2-Tech リストの内容

	区分・業種など
A 産業・業務（業種共通）	空調、熱源、ほか
B 産業（業種固有の製造設備など）	鉄鋼業、化学工業、紙・パルプ製造業、石油化学、ガラス製造業、自動車製造業、建機、農業（耕種用）、農業（施設園芸）、ほか
C 運輸	自動車（乗用車）、自動車（商用車・重量車）、二輪車、鉄道、船舶、航空機
D 家庭	家電、給湯器、窓ガラス、ほか
E エネルギー転換	再生可能エネルギー、火力発電、ほか
F 廃棄物処理・リサイクル	一般廃棄物、産業廃棄物、マテリアルリサイクル、下水処理、下水汚泥処理、ほか

出典：環境省発表資料から作成

地球温暖化防止活動 36件の功績表彰

12月2日、イイノホールで行われた表彰式

地球温暖化防止月間である12月には国や地方公共団体、民間非営利団体（NPO）や非政府組織（NGO）、企業などがそれぞれの立場で地球温暖化防止への取り組みを啓発していくためのイベントやPR活動を行う。環境省が98年から行っている「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」もその一つ。地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人または団体に対して、その功績をたたえるというもの。

今回の応募総数は173件。平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰候補者を選定した。この結果を基に丸川珠代環境大臣が個人2件、団体34件の計36件を被表彰者として決定。東京千代田区のイイノホールで2日に表彰式が行われた。

「技術開発・製品化部門」はL2―Tech概念による先導的低炭素技術、省エネ技術、新エネ技術、省エネ製品、省エネ建築のデザインなど、温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発によってその製品化を進めたことに関する功績。表彰対象には商品化されていないものも含まれる。「L2―Tech」に関する功績は14年度の地球温暖化防止活動環境大臣表彰から、表彰対象として加えられている。今回表彰されたのは京都大学生存圏研究所の五十田博教授と竹中工務店の2者共同、東京工業大学、鹿島建設ほか8者共同など全8件。

またコージェネレーションやヒートポンプ、新エネ、省エネ製品、省エネ型新交通システム、省エネ建物など、温室効果ガスの排出を低減する技術や製品の大量導入・先導的導入に関する功績を表彰する「対策技術先進導入部」で表彰されたのは学校法人愛知学院、カンケンテクノほか全4件だった。

一方、地球温暖化防止に資するライフスタイル実践・普及活動、地域における効果的な節電に関する実践・普及活動、植林活動など、地球温暖化を防止する活動の実践・普及等継続的な取り組みに関する功績を表彰する「対策活動実践・普及部門」ではENEX、静岡ガス、新関西国際空港など全17件が表彰された。

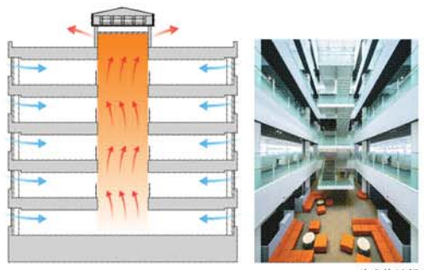
また、地球温暖化について教育資料の開発、情報の提供、学校や市民、企業内における教育活動や普及・啓発などの継続的な取り組みに関する功績をたたえる「環境教育活動部門」で6件、地球温暖化防止に資する技術移転・指導、教育普及活動、国際会議での貢献、海外での植林など、国際的な地球温暖化防止対策活動に関する功績をたたえる「国際貢献部門」で1件が表彰された。

（次ページに続く）

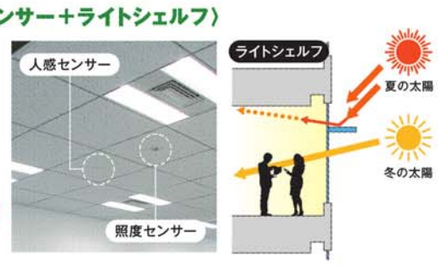
MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機の省エネ技術によって
年間560,000kWhもの使用電力量を削減※1し、
CASBEE福岡※2Sランクを取得。

自動換気システム
室内温湿度と外気温湿度、風速、降雨量を監視し、条件が揃うと自動で吹き抜け上部と各フロアの排煙窓を開閉・空調機を停止し、空調効率の向上に貢献します。
電力削減量 −57,000kWh



照明システム〈LED＋人感・照度センサー＋ライトシェルフ〉
人がいない場所の減光・消灯や、昼光で十分明るい部屋の照明光の削減に加え、ライトシェルフによる日射制御と昼光利用によって、効率的な省エネを実現します。
電力削減量 −453,000kWh



太陽光発電システム
30kWの太陽光モジュールを屋上に120枚設置し、再生エネルギーを活用。年間34,000kWhもの使用電力量削減を可能にしています。
電力削減量 −34,000kWh

【パワー半導体】
パワーデバイス製作所で開発・製造している「パワー半導体」は、家電、産業、鉄道や自動車など、さまざまなパワーエレクトロニクス機器の省エネを実現するキーデバイスの1つです。

※1 CEC/PAL基準より算出。紙面でご紹介しているほかにも年間使用電力量の削減に貢献している機器・施策があります。※2 建築環境総合性能評価システム。

あなたの工場にぴったりの省エネ化をご提案します。
「三菱電機グループブース」にお越しください。

日本最大級の環境展示会 エコプロダクツ2015

期間：12月10日（木）・11日（金）・12日（土）
会場：東京ビッグサイト 東5ホール 5-025
時間：10:00～18:00（最終日は17:00まで）

◎この広告についてのお問合せは
adv.webmaster@rf.MitsubishiElectric.co.jp
またはFAX.03-3218-2321（宣伝担当）まで。

三菱電機株式会社